

# 調査結果の概要

(1) 乳用牛

ア 飼養戸数・頭数

平成21年2月1日現在（以下「平成21年」という。）の全国の乳用牛の飼養戸数は2万3,100戸で、前年に比べて1,300戸（5.3%）減少した。

飼養頭数は150万頭で、前年に比べて3万3,000頭（2.2%）減少した。

この結果、1戸当たりの平均飼養頭数は、前年より2.1頭増加して64.9頭となった。

また、乳用牛の状態別（経産牛及び未經産牛）飼養頭数をみると、経産牛は98万5,200頭、未經産牛は51万4,800頭で、前年に比べてそれぞれ1万3,000頭（1.3%）、1万9,700頭（3.7%）減少した。

図1 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

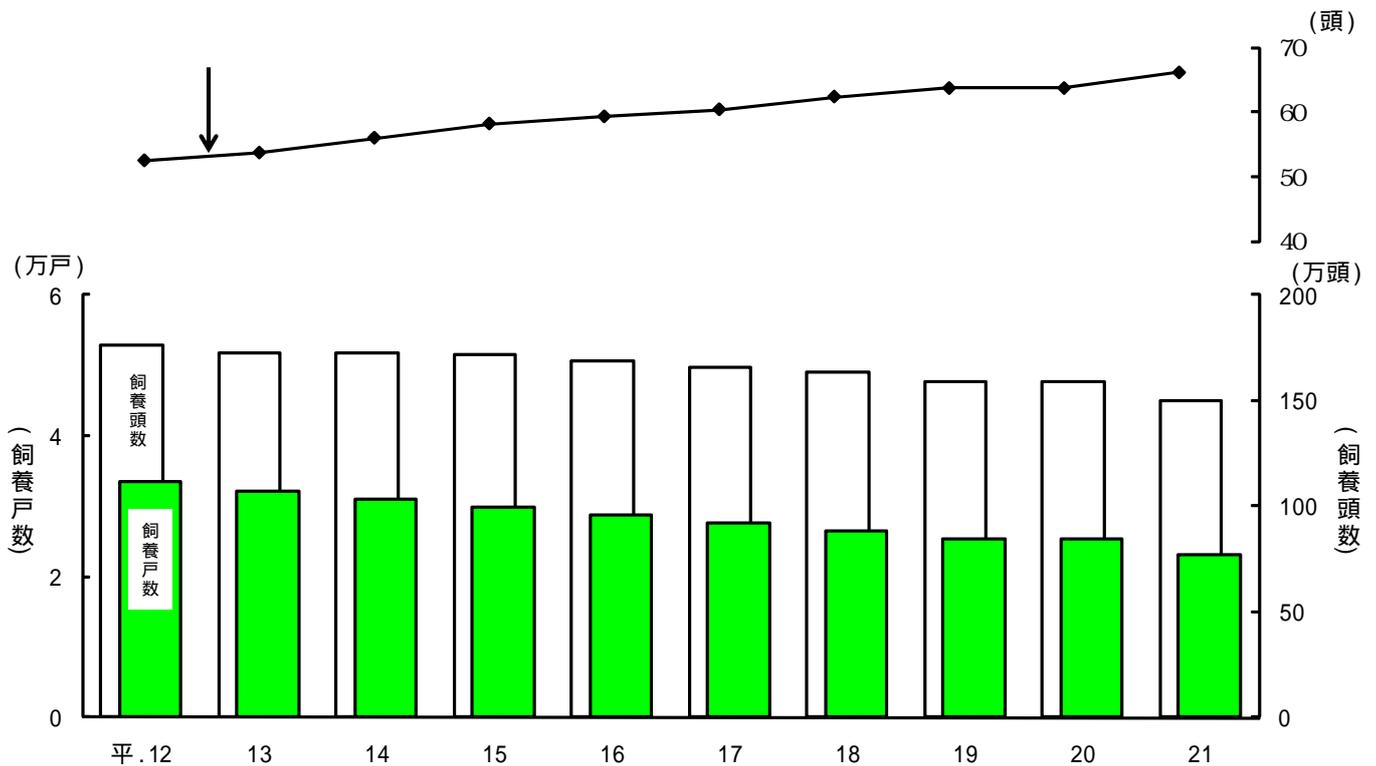


表1 乳用牛の飼養戸数・状態別飼養頭数

単位：千頭

区 分		飼養戸数	飼 養 頭 数					1戸当たり 飼養頭数
			計	経 産 牛			未經産牛	
				小 計	搾乳牛	乾乳牛		
戸 数 ・ 頭 数	平. 19	25 400	1 592.0	1 011.0	871.2	140.1	580.8	62.7
	20	24 400	1 533.0	998.2	861.5	136.7	534.5	62.8
	21	23 100	1 500.0	985.2	848.0	137.2	514.8	64.9
対前 年比 (%)	平. 20	96.1	96.3	98.7	98.9	97.6	92.0	-
	21	94.7	97.8	98.7	98.4	100.4	96.3	-
構 成 (%) 比	平. 19	-	100.0	63.5	54.7	8.8	36.5	-
	20	-	100.0	65.1	56.2	8.9	34.9	-
	21	-	100.0	65.7	56.5	9.1	34.3	-

### イ 成畜（満2歳以上の牛）頭数規模別飼養戸数・頭数

乳用牛の飼養戸数・頭数を成畜（満2歳以上の牛）頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下、飼養頭数規模別飼養戸数・頭数において同じ。）にみると、飼養戸数は80頭以上の各階層で増加したが、80頭未満の各階層は減少した。

また、飼養頭数も同様の結果となった。

なお、「100頭以上」及び「50～79頭」の両階層を合わせると、飼養頭数の半数を超える。

図2 乳用牛の成畜頭数規模別飼養戸数・頭数の割合

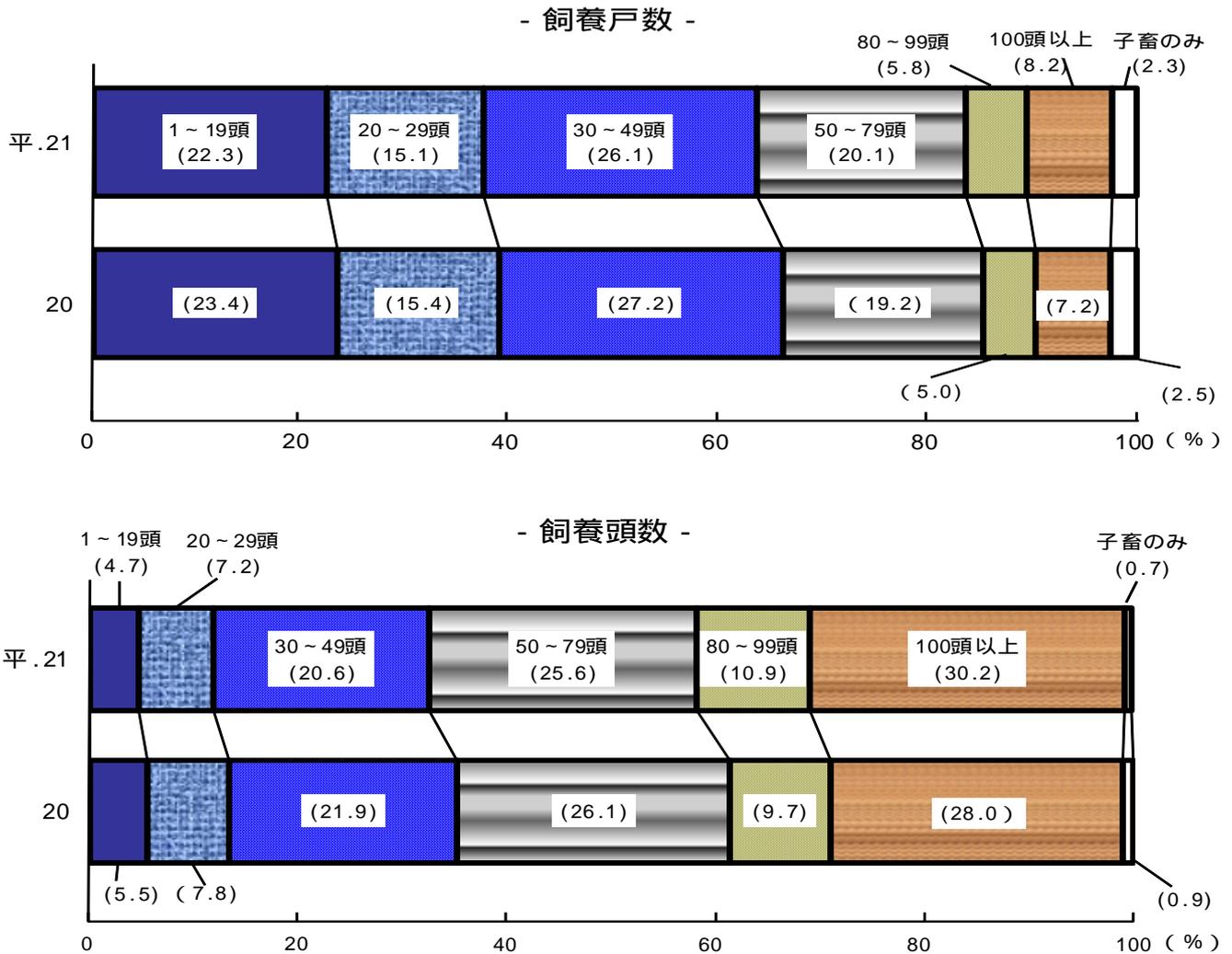


表2 乳用牛の成畜頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	成畜頭数規模								子畜のみ	
			小計	1～19頭	20～29	30～49	50～79	80～99	100頭以上	300頭以上		
飼養戸数	戸	平. 21	22 800	22 300	5 090	3 450	5 960	4 580	1 330	1 860	173	531
	戸	20	24 100	23 500	5 630	3 720	6 550	4 630	1 200	1 730	153	609
	%	対前年比	94.6	94.9	90.4	92.7	91.0	98.9	110.8	107.5	113.1	87.2
飼養頭数	千頭	平. 21	1 477.0	1 467.0	70.0	106.9	304.2	378.4	160.6	446.6	106.2	10.2
	千頭	20	1 507.0	1 493.0	83.5	118.1	330.1	392.9	145.7	422.7	94.1	14.3
	%	対前年比	98.0	98.3	83.8	90.5	92.2	96.3	110.2	105.7	112.9	71.3

ウ 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

乳用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期日前の1年間（平成20年2月～平成21年1月。以下同じ。）に飼料作物を作付けした戸数は2万200戸で、乳用牛飼養者の88.6%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道、東北及び九州において乳用牛飼養者の9割以上が飼料作物を作付けしている。

図3 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

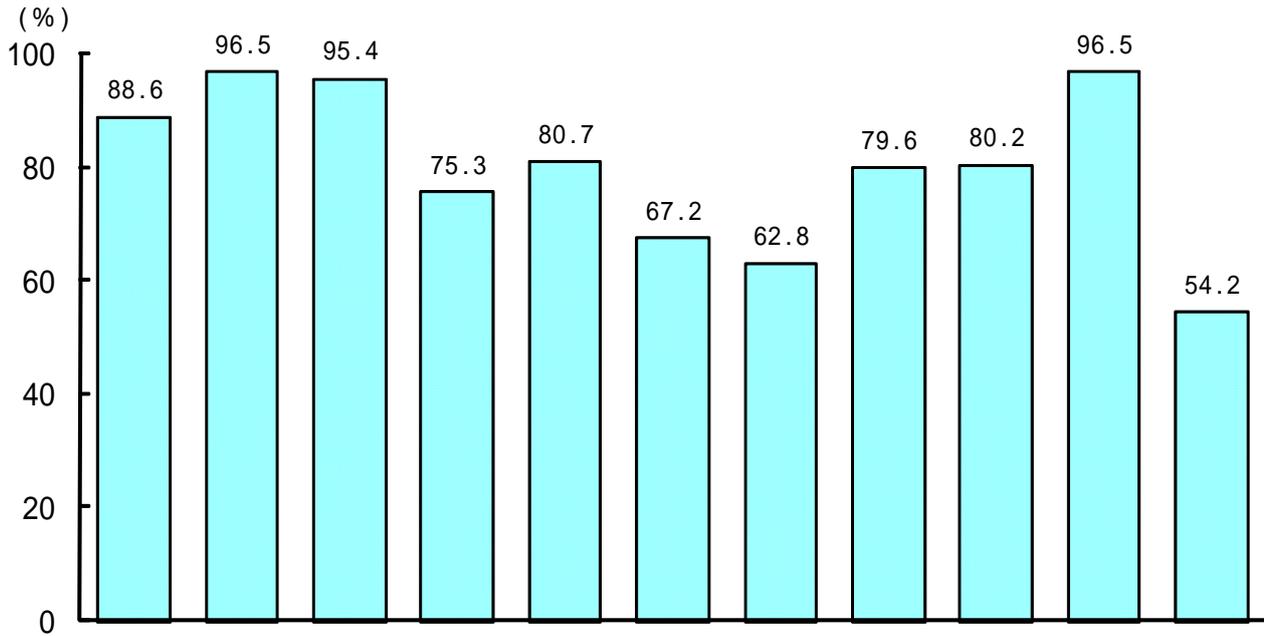


表3 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

区分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	単位 { ha	
				経営耕地面積	飼料作物作付実面積
全国	22 800	20 200	88.6	523 000	493 600
北海道	7 820	7 550	96.5	434 600	416 400
東北	3 670	3 500	95.4	38 800	34 100
北陸	493	371	75.3	2 550	1 840
関東・東山	4 760	3 840	80.7	20 500	18 200
東海	1 050	706	67.2	3 570	3 210
近畿	861	541	62.8	1 210	900
中国	1 140	908	79.6	5 590	4 740
四国	617	495	80.2	1 390	1 210
九州	2 300	2 220	96.5	14 600	12 700
沖縄	96	52	54.2	200	190

## エ 乳用牛の放牧状況

乳用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期日前の1年間に乳用牛の放牧を行った戸数は6,710戸で、乳用牛飼養者の29.4%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では65.5%の飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図4 乳用牛飼養者の放牧実施戸数割合

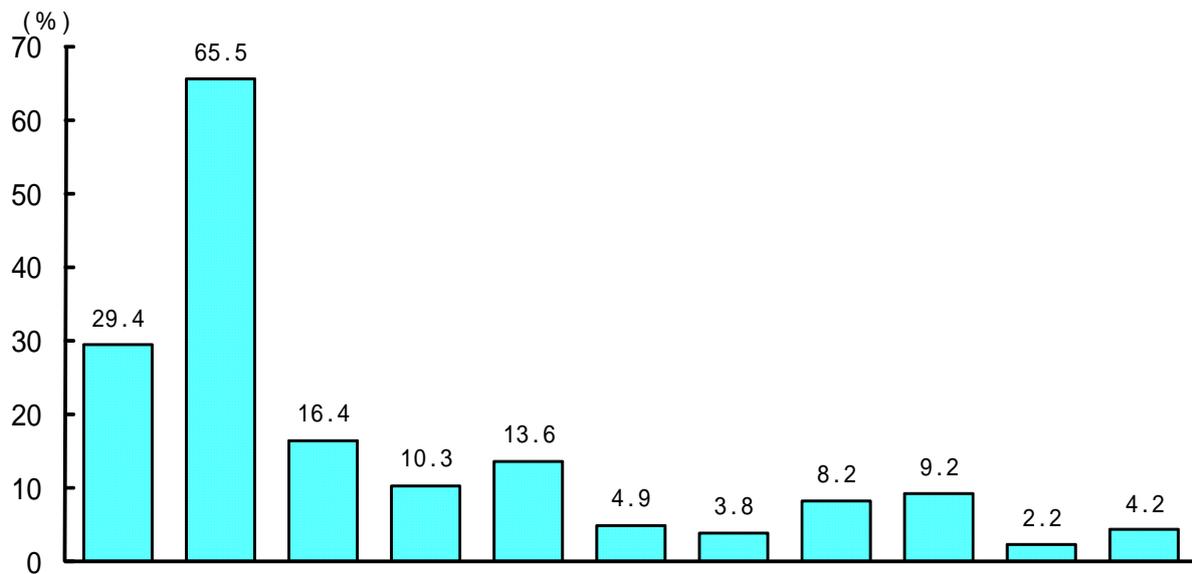


表4 乳用牛の放牧状況

区 分	飼養戸数	放牧をして いる戸数	放牧実施 戸数割合	放牧頭数
			%	頭
全 国	22 800	6 710	29.4	297 000
北 海 道	7 820	5 120	65.5	272 400
東 北	3 670	603	16.4	8 710
北 陸	493	51	10.3	450
関 東・東 山	4 760	647	13.6	9 000
東 海	1 050	51	4.9	1 230
近 畿	861	33	3.8	510
中 国	1 140	93	8.2	1 990
四 国	617	57	9.2	1 010
九 州	2 300	51	2.2	1 690
沖 縄	96	4	4.2	80

## (2) 肉用牛

### ア 飼養戸数・頭数

平成21年の全国の肉用牛の飼養戸数は7万7,300戸で、前年に比べて3,100戸（3.9%）減少した。

飼養頭数は292万3千頭で、前年に比べて3万3,000頭（1.1%）増加した。

この結果、1戸当たりの平均飼養頭数は、前年より1.9頭増加して37.8頭となった。

また、肉用牛の種類別飼養頭数をみると、肉用種は188万9,000頭で前年に比べて6万6,000頭（3.6%）増加し、乳用種は103万3,000頭で前年に比べて3万4,000頭（3.2%）減少した。

なお、乳用種のうち、ホルスタイン種他は41万1,300頭、交雑種（F1牛、F1クロス牛）は62万2,100頭で、前年に比べてそれぞれ2万300頭（4.7%）、1万3,600頭（2.1%）減少した。

図5 肉用牛の飼養戸数・頭数の推移

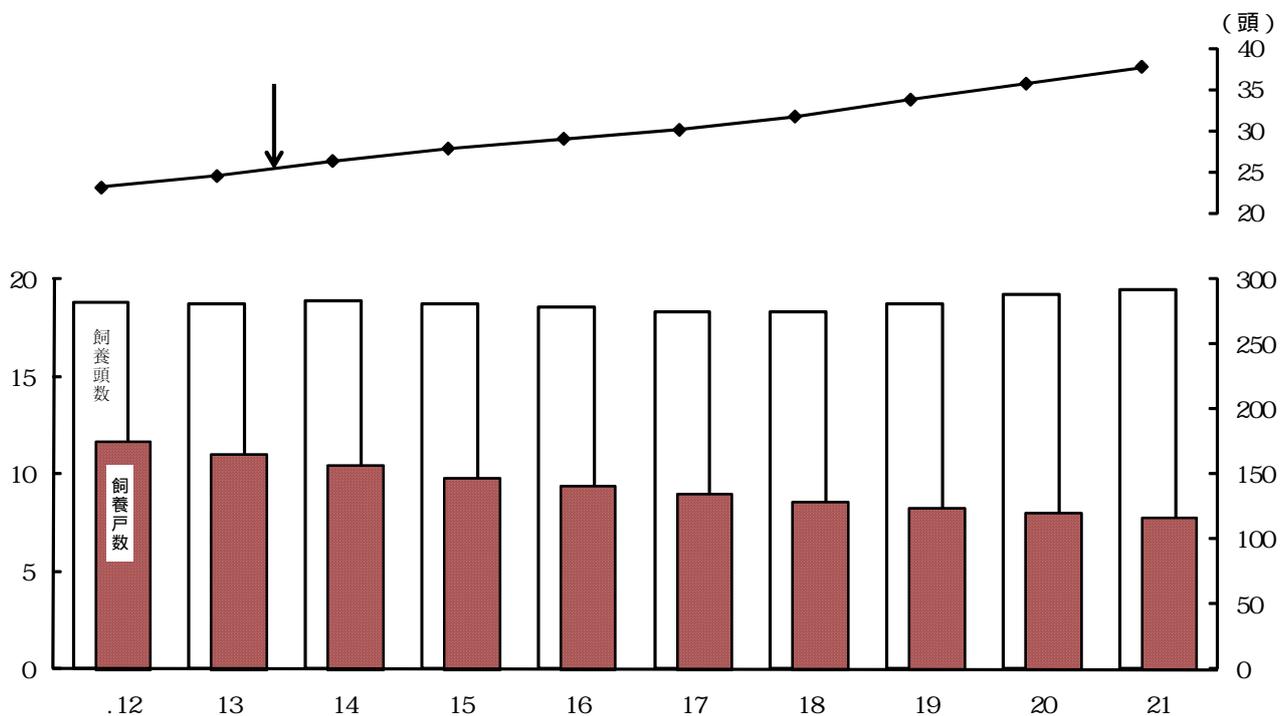


表5 肉用牛の飼養戸数・種類別頭数

単位：千頭

区分	飼養戸数	飼 養 頭 数						1戸当たり飼養頭数	
		計	肉用種	乳 用 種					
				小 計	ホルスタイン種他	交雑種			
戸数・頭数	戸						頭		
平.	19	82 300	2 806.0	1 742.0	1 064.0	459.8	604.0	34.1	
	20	80 400	2 890.0	1 823.0	1 067.0	431.6	635.7	35.9	
	21	77 300	2 923.0	1 889.0	1 033.0	411.3	622.1	37.8	
対前年比 (%)	平.	20	97.7	103.0	104.6	100.3	93.9	105.2	-
		21	96.1	101.1	103.6	96.8	95.3	97.9	-
構成 (%)	平.	19	-	100.0	62.1	37.9	16.4	21.5	-
		20	-	100.0	63.1	36.9	14.9	22.0	-
		21	-	100.0	64.6	35.3	14.1	21.3	-

## イ 飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

### (ア) 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

総飼養頭数規模別にみると、飼養戸数は前年に比べて「100～199頭」の階層では前年並みであったものの、その他の階層で減少した。

また、飼養頭数は、「1～4頭」の階層で20.1%、「5～9頭」の階層で3.0%、「20～49頭」の階層で10.1%、「50～99頭」の階層で0.3%、「200頭以上」の階層で0.2%それぞれ増加したが、その他の階層では減少した。

なお、飼養頭数の半数を占めているのは「200頭以上」の階層である。

図6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数割合

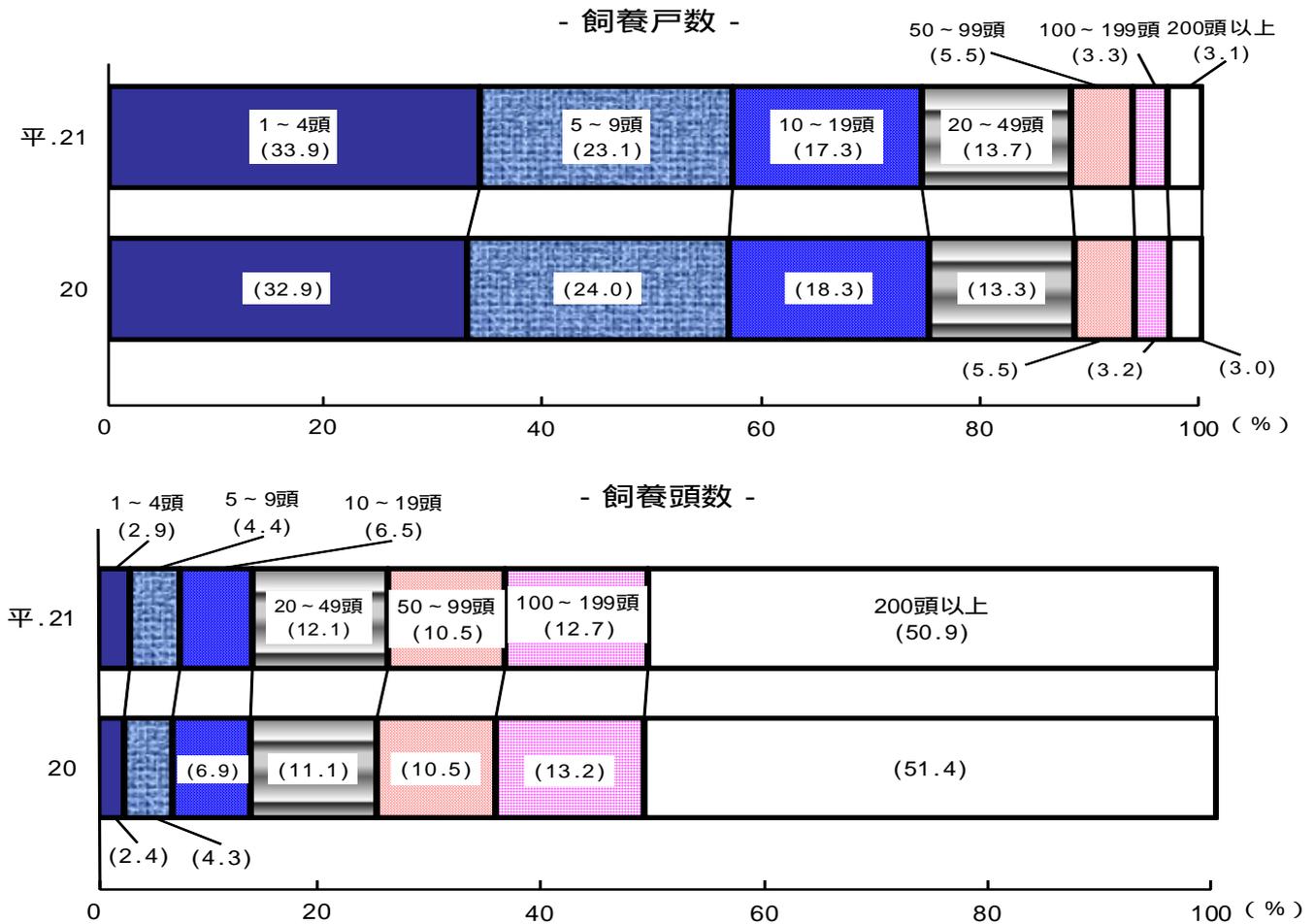


表6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
飼養戸数	平. 21	戸	76 900	26 100	17 800	13 300	10 500	4 200	2 570	2 390	774
	20	戸	80 000	26 300	19 200	14 600	10 600	4 400	2 570	2 430	706
	対前年比	%	96.1	99.2	92.7	91.1	99.1	95.5	100.0	98.4	109.6
飼養頭数	平. 21	千頭	2 891.0	82.4	127.8	188.2	350.0	302.4	367.8	1 472.0	972.5
	20	千頭	2 857.0	68.6	124.1	198.3	318.0	301.4	377.9	1 469.0	918.9
	対前年比	%	101.2	120.1	103.0	94.9	110.1	100.3	97.3	100.2	105.8

(イ) 肉用種の目的別飼養頭数別飼養戸数

a 子取り用めす牛

肉用種の子取り用めす牛を飼養している戸数は6万6,600戸で、肉用牛飼養戸数の86.6%となっている。

飼養頭数規模別にみると、「20～49頭」、「50～99頭」及び「100頭以上」の階層は前年に比べて増加し、その他の階層では減少した。

表7 子取り用めす牛の飼養頭数規模別飼養戸数

区分	肉用牛の飼養戸数	子取り用めす牛飼養頭数規模								子取り用めす牛なし
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100頭以上		
戸数	平. 21	76 900	66 600	33 700	16 200	9 240	5 860	1 210	450	10 300
	20	80 000	69 700	36 800	16 500	9 330	5 500	1 170	409	10 300
対前年比(%)		96.1	95.6	91.6	98.2	99.0	106.5	103.4	110.0	100.0
構成比(%)	平. 21	100.0	86.6	43.8	21.1	12.0	7.6	1.6	0.6	13.4
	20	100.0	87.1	46.0	20.6	11.7	6.9	1.5	0.5	12.9

b 肥育用牛

肉用種の肥育用牛を飼養している戸数は1万1,700戸で、肉用牛飼養戸数の15.2%となっている。

飼養頭数規模別にみると、「10～19頭」及び「200頭以上」の階層は前年に比べて増加し、その他の階層では減少した。

表8 肥育用牛の飼養頭数規模別飼養戸数

区分	肉用牛の飼養戸数	肥育用牛飼養頭数規模									肥育用牛なし	
		計	1～9頭	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上		
戸数	平. 21	76 900	11 700	4 780	1 500	862	1 130	1 450	1 080	942	228	65 100
	20	80 000	11 900	4 830	1 330	965	1 210	1 530	1 110	913	225	68 100
対前年比(%)		96.1	98.3	99.0	112.8	89.3	93.4	94.8	97.3	103.2	101.3	95.6
構成比(%)	平. 21	100.0	15.2	6.2	2.0	1.1	1.5	1.9	1.4	1.2	0.3	84.7
	20	100.0	14.9	6.0	1.7	1.2	1.5	1.9	1.4	1.1	0.3	85.1

(ウ) 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

肉用の乳用種(乳廃牛は除く。)を飼養している戸数は7,380戸で、肉用牛飼養戸数の9.6%となっている。

飼養頭数規模別にみると、「1～4頭」、「20～49頭」及び「50～99頭」の階層は前年に比べて増加し、その他の階層では減少した。

表9 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

区分	肉用牛の飼養戸数	乳用種飼養頭数規模								乳用種なし	
		計	1～4頭	5～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上		
戸数	平. 21	76 900	7 380	2 330	1 400	958	703	742	1 250	421	69 500
	20	80 000	7 230	2 130	1 460	908	670	791	1 270	389	72 800
対前年比(%)		96.1	102.1	109.4	95.9	105.5	104.9	93.8	98.4	108.2	95.5
構成比(%)	平. 21	100.0	9.6	3.0	1.8	1.2	0.9	1.0	1.6	0.5	90.4
	20	100.0	9.0	2.7	1.8	1.1	0.8	1.0	1.6	0.5	91.0

### ウ 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付面積の状況

肉用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期日前の1年間に飼料作物を作付けした戸数は6万3,900戸で肉用牛飼養者の83.1%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道及び九州で肉用牛飼養者の約9割が飼料作物を作付けしている。

図7 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

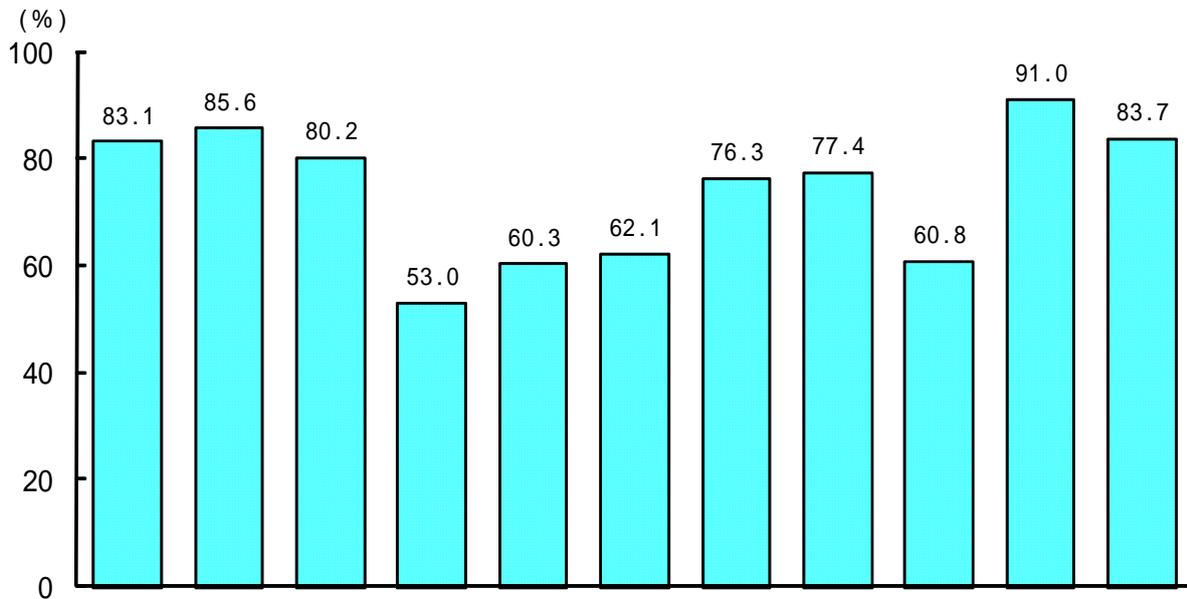


表10 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

区 分	飼養戸数	飼料作物 作付戸数	飼料作物 作付戸数 割 合	経営耕地 面 積	飼 料 作 物 作 付 実 面 積
					単位 { ha
全 国	76 900	63 900	83.1	272 200	197 100
北 海 道	2 990	2 560	85.6	88 200	80 700
東 北	21 700	17 400	80.2	78 200	41 100
北 陸	515	273	53.0	1 530	780
関 東・東 山	4 530	2 730	60.3	13 000	7 160
東 海	1 610	1 000	62.1	2 820	1 750
近 畿	2 360	1 800	76.3	2 710	1 360
中 国	4 560	3 530	77.4	7 760	3 570
四 国	1 160	705	60.8	1 350	710
九 州	34 400	31 300	91.0	68 100	54 300
沖 縄	3 070	2 570	83.7	8 480	5 680

## エ 肉用牛の放牧状況

肉用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期日前の1年間に肉用牛の放牧を行った戸数は9,900戸で、肉用牛飼養者の12.9%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では50.2%の飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図8 肉用牛飼養者の放牧実施戸数割合

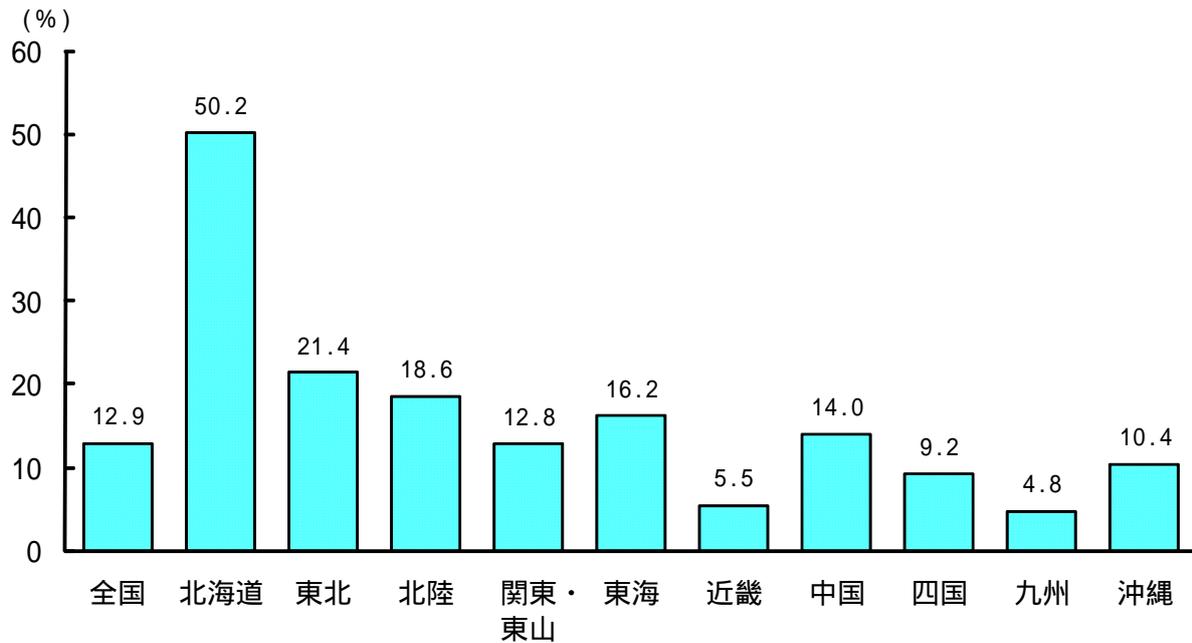


表11 肉用牛の放牧状況

区 分	飼養戸数	放牧をして いる戸数	放牧実施 戸数割合	放牧頭数
			%	頭
全 国	76 900	9 900	12.9	132 100
北 海 道	2 990	1 500	50.2	51 300
東 北	21 700	4 640	21.4	31 900
北 陸	515	96	18.6	350
関 東 ・ 東 山	4 530	579	12.8	5 430
東 海	1 610	261	16.2	2 140
近 畿	2 360	129	5.5	1 960
中 国	4 560	638	14.0	7 560
四 国	1 160	107	9.2	1 240
九 州	34 400	1 640	4.8	22 600
沖 縄	3 070	319	10.4	7 610

### (3) 豚

#### ア 飼養戸数・頭数

平成21年の全国の豚の飼養戸数は6,890戸で、前年に比べて340戸(4.7%)減少した。

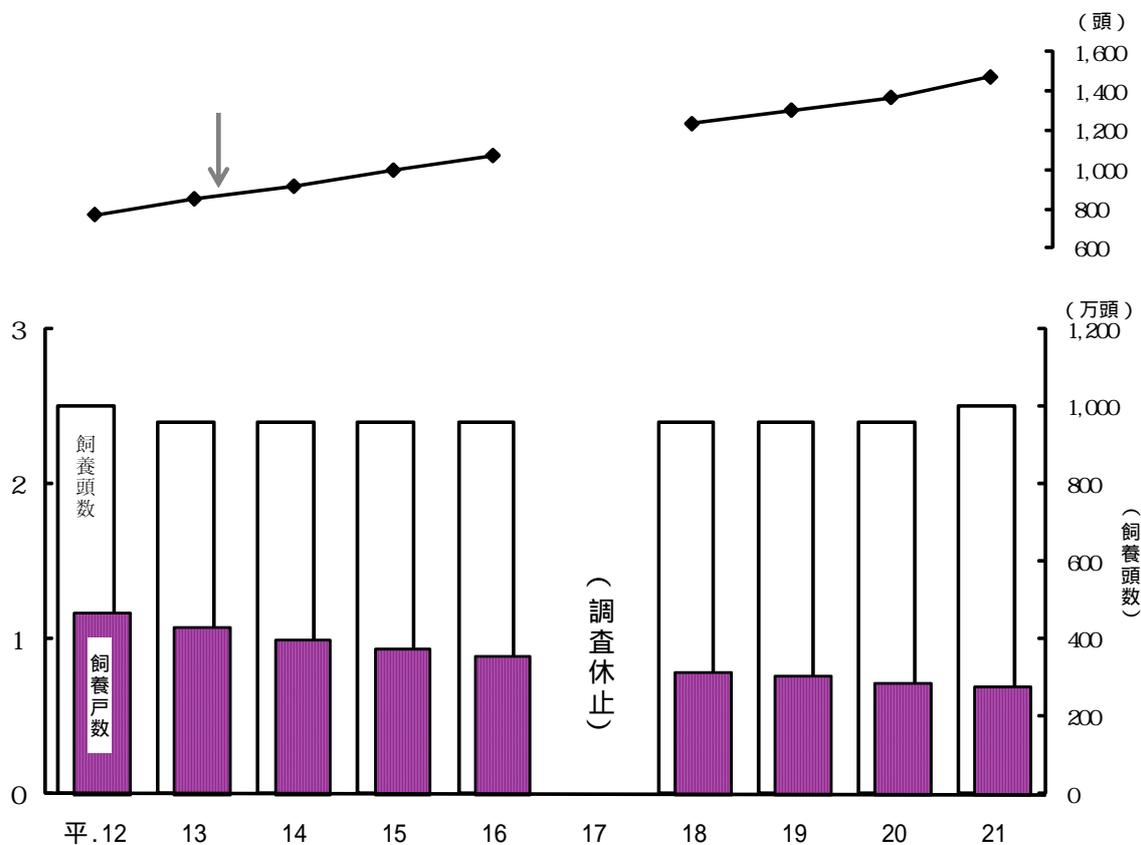
飼養頭数は989万9,000頭で、前年に比べて15万4,000頭(1.6%)増加した。

この結果、1戸当たりの飼養頭数は、前年より88.8頭増加して1,436.7頭となった。

また、飼養頭数のうち、子取り用めす豚飼養頭数は93万6,700頭で前年に比べて26,600頭(2.9%)増加した。

なお、1戸当たり子取り用めす豚飼養頭数は、前年より12.4頭増加して158.0頭となった。

図9 豚の飼養戸数・頭数の推移



注：平成17年は「2005年農林業センサス」実施年のため調査を休止した。

表12 豚の飼養戸数・種類別飼養頭数

区分		飼養戸数		飼養頭数					1戸当たり飼養頭数	
		子取り用めす豚のいる戸数	計	子取り用めす豚	種おす豚	肥育豚	その他	子取り用めす豚	計	
戸数・頭数	平. 21	6,890	5,930	9,899.0	936.7	57.1	8,220.0	685.7	1,436.7	158.0
	20	7,230	6,250	9,745.0	910.1	57.4	8,117.0	660.9	1,347.9	145.6
対前年比(%)		95.3	94.9	101.6	102.9	99.5	101.3	103.8	-	-
構成比(%)	平. 21	100.0	86.1	100.0	9.5	0.6	83.0	6.9	-	-
	20	100.0	86.4	100.0	9.3	0.6	83.3	6.8	-	-

単位

### イ 飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

飼養戸数を肥育豚飼養頭数規模別にみると、前年に比べて「1～99頭」の階層で0.5%、「100～299頭」の階層で9.4%、「2,000頭以上」の階層で4.0%増加し、その他の階層では減少した。

飼養頭数は前年に比べて「1～99頭」の階層で21.0%、「100～299頭」の階層で15.7%、「2,000頭以上」の階層で7.4%増加したが、その他の階層では減少した。

なお、飼養頭数の約6割を占めているのは「2,000頭以上」の階層である。

図10 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数割合の推移

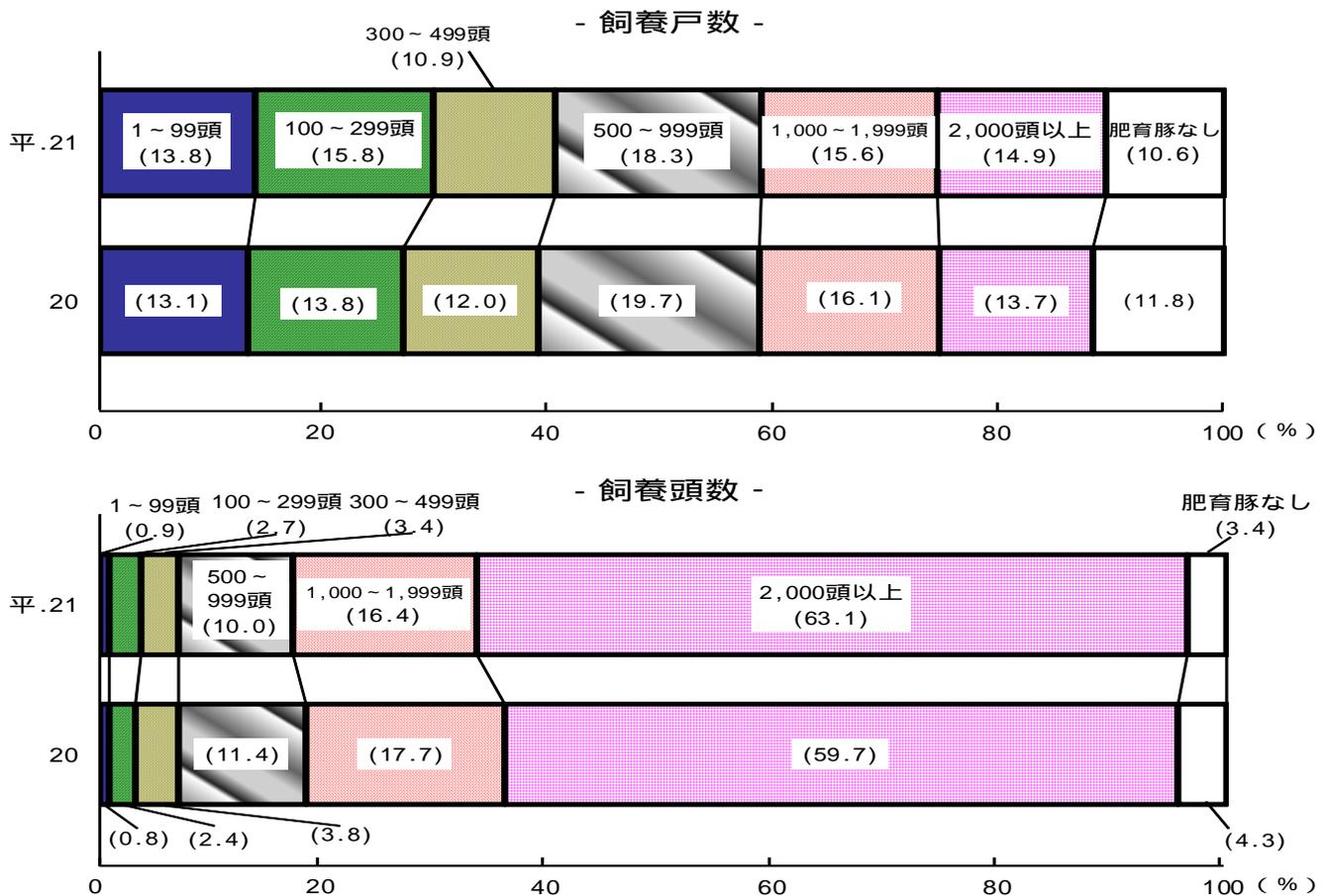


表13 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	肥育豚飼養頭数規模								肥育豚なし
			小計	1～99頭	100～299	300～499	500～999	1,000～1,999	2,000頭以上	3,000頭以上	
実数	平. 21 戸	6 710	6 000	927	1 060	731	1 230	1 050	1 000	590	712
	20 "	7 040	6 210	922	969	844	1 390	1 130	962	562	829
	対前年比 %	95.3	96.6	100.5	109.4	86.6	88.5	92.9	104.0	105.0	85.9
構成比	平. 21 "	100.0	89.4	13.8	15.8	10.9	18.3	15.6	14.9	8.8	10.6
	20 "	100.0	88.2	13.1	13.8	12.0	19.7	16.1	13.7	8.0	11.8
実数	平. 21 千頭	9 856.0	9 516.0	88.7	270.4	334.2	989.5	1 614.0	6 219.0	4 998.0	340.0
	20 "	9 695.0	9 278.0	73.3	233.7	365.2	1 106.0	1 712.0	5 788.0	4 633.0	416.5
	対前年比 %	101.7	102.6	121.0	115.7	91.5	89.5	94.3	107.4	107.9	81.6
構成比	平. 21 "	100.0	96.6	0.9	2.7	3.4	10.0	16.4	63.1	50.7	3.4
	20 "	100.0	95.7	0.8	2.4	3.8	11.4	17.7	59.7	47.8	4.3

(4) 採卵鶏

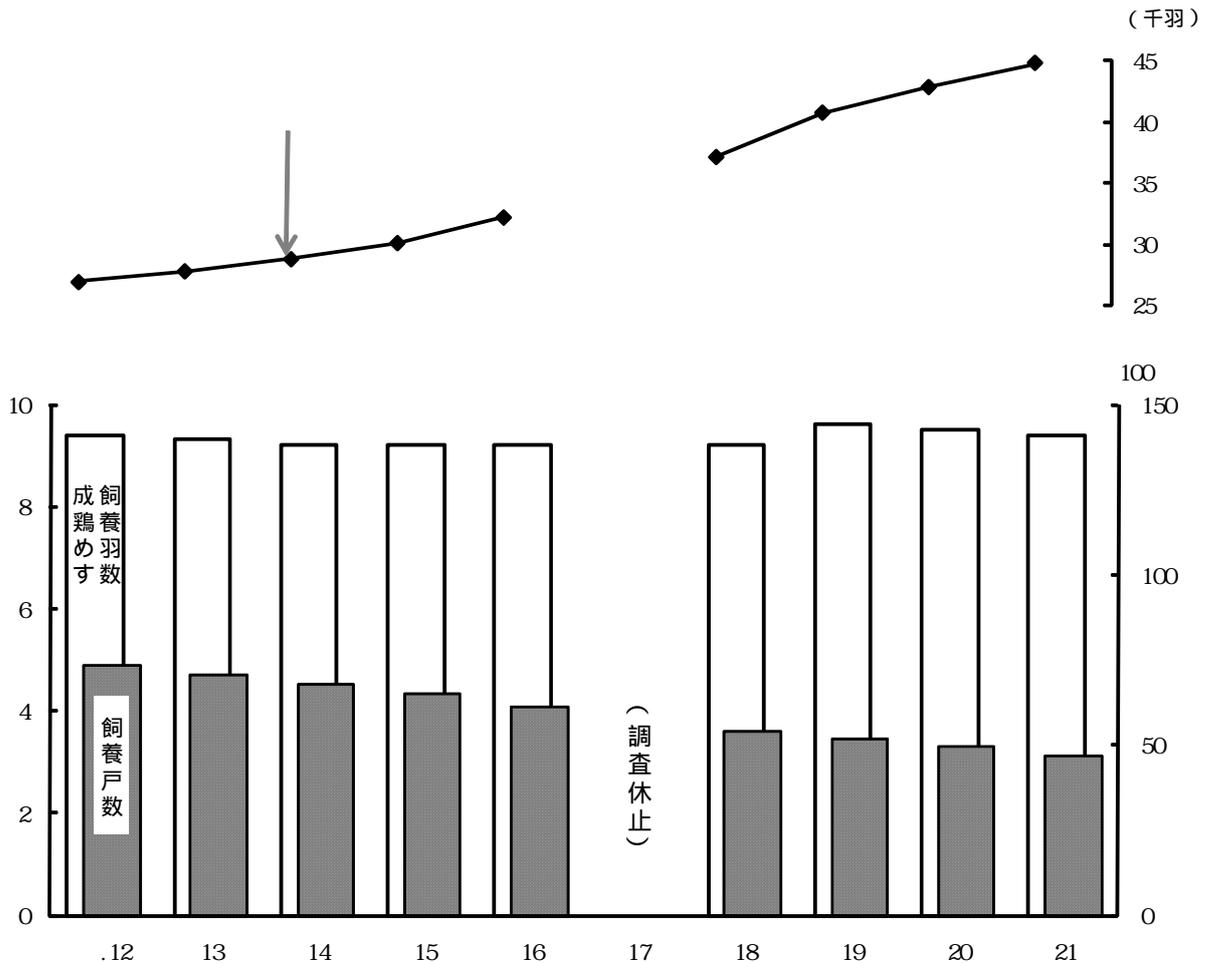
ア 飼養戸数・羽数

平成21年の全国の採卵鶏の飼養戸数（種鶏のみの飼養者及び成鶏めす羽数1千羽未満の飼養者を除く。以下同じ。）は3,110戸で、前年に比べて190戸（5.8%）減少した。

成鶏めすの飼養羽数は1億3,991万羽で、前年に比べて261万3千羽（1.8%）減少した。

この結果、1戸当たりの成鶏めす飼養羽数は、前年に比べて1,800羽増加し4万5,000羽となった。

図11 採卵鶏の飼養戸数・羽数の推移



注：平成17年は「2005年農林業センサス」実施年のため調査を休止した。

表14 採卵鶏の飼養戸数・羽数

単位 { 戸数：戸  
羽数：千羽

区分	採卵鶏の飼養戸数	飼養羽数			1戸当たり成鶏めす飼養羽数
		計	採卵鶏(種鶏を除く)	成鶏めす(6か月以上)	
戸数・平. 21	3 110	180 994	178 208	139 910	45.0
羽数 20	3 300	184 773	181 664	142 523	43.2
対前年比(%)	94.2	98.0	98.1	98.2	-
構成比平. 21	-	100.0	98.5	77.3	-
(%) 20	-	100.0	98.3	77.1	-

イ 採卵鶏の成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

飼養戸数を成鶏めす羽数規模別にみると、すべての階層で前年に比べて減少した。

成鶏めす飼養羽数も同様の結果となった。

なお、「10万羽以上」の階層で成鶏めす飼養羽数の6割以上を占めている。

図12 採卵鶏の成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数割合の推移

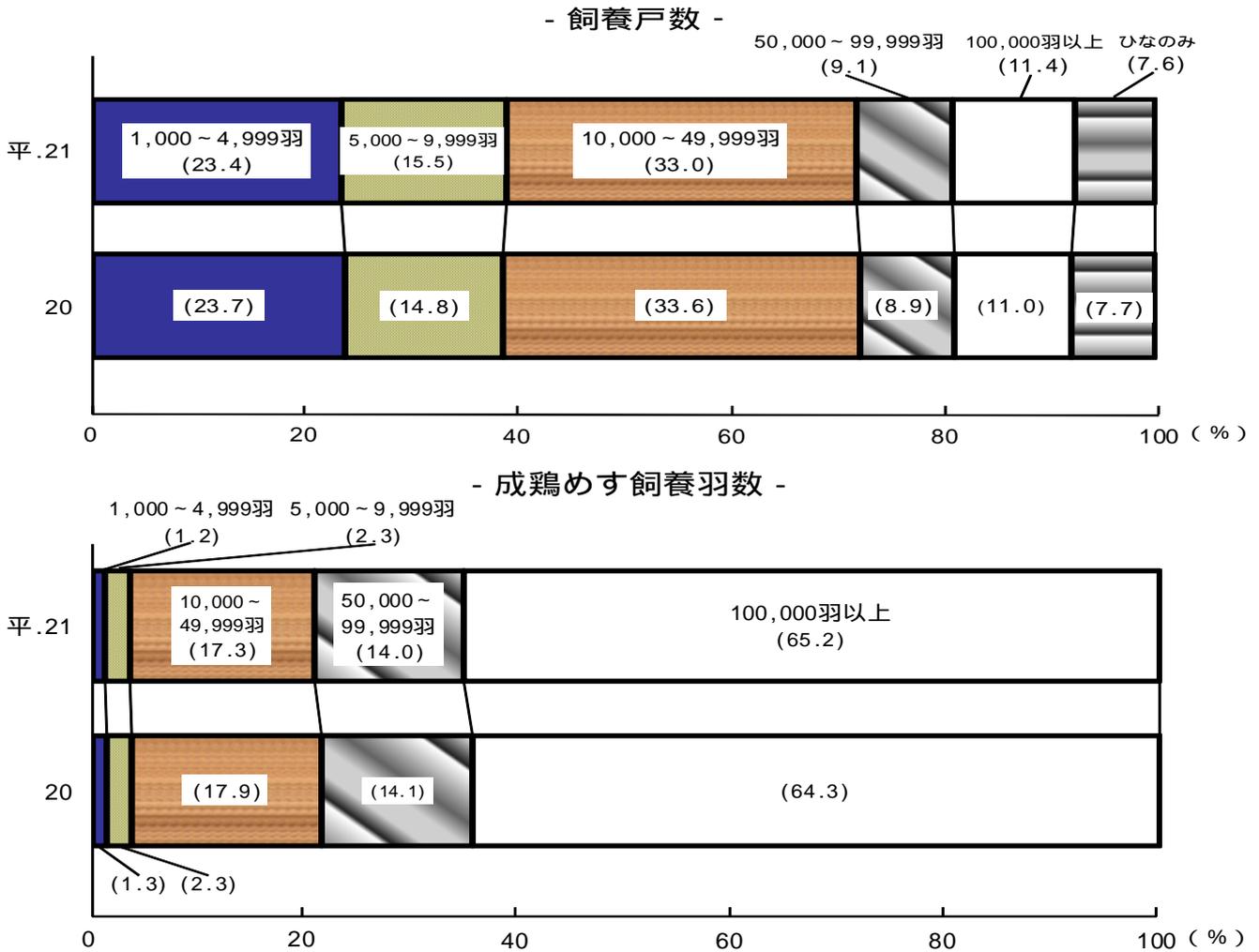


表15 採卵鶏の成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

区分	単位	計	成鶏めす飼養羽数規模					ひなのみ
			1,000 ~ 4,999	5,000 ~ 9,999	10,000 ~ 49,999	50,000 ~ 99,999	100,000羽以上	
戸数	平. 21 戸	3 060	716	473	1 010	277	350	233
	20 戸	3 240	769	481	1 090	288	356	249
	対前年比 %	94.4	93.1	98.3	92.7	96.2	98.3	93.6
構成比	平. 21 %	100.0	23.4	15.5	33.0	9.1	11.4	7.6
	20 %	100.0	23.7	14.8	33.6	8.9	11.0	7.7
羽数	平. 21 千頭	139 588	1 685	3 246	24 140	19 516	91 001	-
	20 千頭	142 300	1 899	3 296	25 517	20 045	91 543	-
	対前年比 %	98.1	88.7	98.5	94.6	97.4	99.4	-
構成比	平. 21 %	100.0	1.2	2.3	17.3	14.0	65.2	-
	20 %	100.0	1.3	2.3	17.9	14.1	64.3	-

(5) 鶏ひなふ化羽数

ア ふ化羽数及び出荷羽数

(7) 採卵用めすひな

平成20年（1月～12月）の全国の採卵用めすひなのふ化羽数は1億724万1千羽、出荷羽数は1億244万5千羽で、前年に比べてそれぞれ4.8%、4.8%増加した。

(1) プロイラー用ひな

平成20年（1月～12月）の全国のプロイラー用ひなのふ化羽数は7億457万5千羽、出荷羽数は6億8,557万3千羽で、前年に比べてそれぞれ1.9%、1.7%増加した。

図13 鶏ひなの出荷羽数の推移

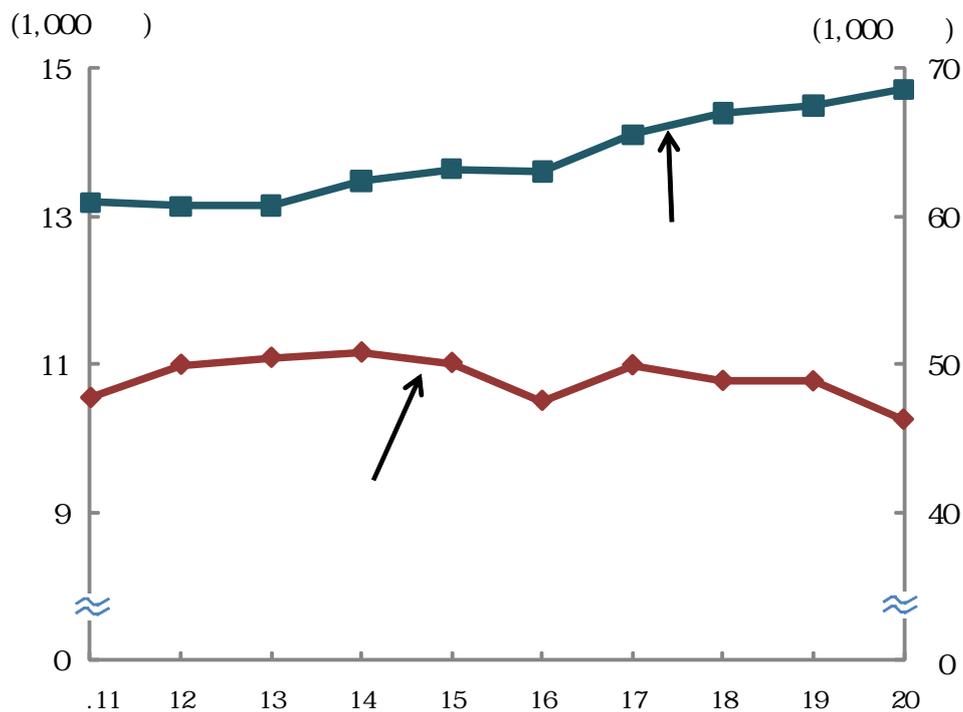


表16 鶏ひなのふ化羽数及び出荷羽数

単位：千羽

区分		採卵用めすひな		プロイラー用ひな	
		ふ化羽数	出荷羽数	ふ化羽数	出荷羽数
羽数	平. 20	107 241	102 445	704 575	685 573
	19	112 645	107 626	691 687	674 336
対前年比 (%)	平. 20	95.2	95.2	101.9	101.7
	19	99.9	100.0	100.5	100.7

## イ 全国農業地域別え付け羽数

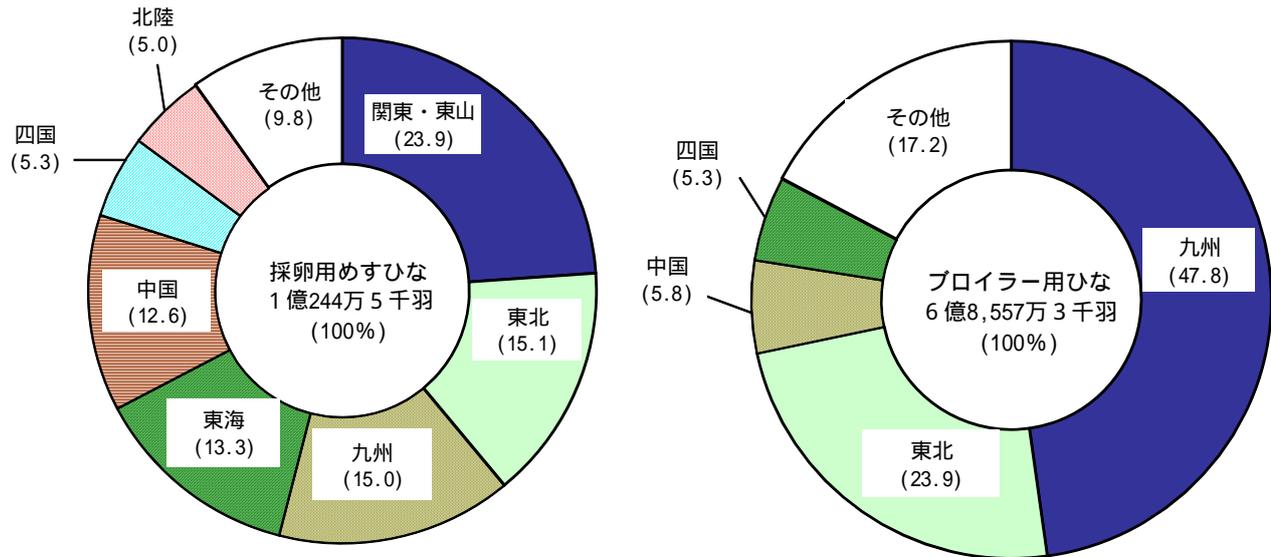
### (ア) 採卵用めすひな

全国農業地域別にみると、全ての地域で減少した。

### (イ) プロイラー用ひな

全国農業地域別にみると、関東・東山、中国ではそれぞれ3.5%、0.4%減少したが、それ以外の地域では増加した。

図14 鶏ひなの全国農業地域別え付け羽数割合



注：え付け羽数の全国割合が5.0%未満の地域については「その他」とした。

表17 鶏ひなの全国農業地域別え付け羽数

単位：千羽

区分		計	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	
採卵用めすひな	羽数	平.20 19	102 445 107 626	4 673 5 077	15 486 15 561	5 163 5 487	24 462 26 478	13 577 14 186	4 476 4 544	12 888 13 573	5 480 5 721	15 416 16 152	824 847
	対前年比 (%)	平.20 19	95.2 100.0	92.0 101.6	99.5 100.1	94.1 97.4	92.4 98.3	95.7 96.7	98.5 96.5	95.0 109.8	95.8 98.0	95.4 100.7	97.3 90.0
	構成比 (%)	平.20 19	100.0 100.0	4.6 4.7	15.1 14.5	5.0 5.1	23.9 24.6	13.3 13.2	4.4 4.2	12.6 12.6	5.3 5.3	15.0 15.0	0.8 0.8
	プロイラー用ひな	羽数	平.20 19	685 573 674 336	32 477 30 895	163 753 162 228	6 527 6 242	31 671 32 827	19 941 19 591	23 747 23 239	39 730 39 895	36 518 35 897	327 636 320 170
対前年比 (%)	平.20 19	101.7 100.7	105.1 101.3	100.9 101.7	104.6 111.3	96.5 102.5	101.8 90.6	102.2 96.2	99.6 100.4	101.7 96.8	102.3 101.3	106.6 102.4	
構成比 (%)	平.20 19	100.0 100.0	4.7 4.6	23.9 24.1	1.0 0.9	4.6 4.9	2.9 2.9	3.5 3.4	5.8 5.9	5.3 5.3	47.8 47.5	0.5 0.5	

注：え付け羽数とは、ふ化業者が出荷（自家育すう用を含む。）した初生ひなを、鶏飼養者（育すう業者を含む。）がえ付けした羽数をいう。